

ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科・領域等	地歴公民科（現代社会）
授業タイトル・単元名等	地球環境問題
対象学年	高等学校第一学年
実施場所	情報処理演習室・PC-LL 教室など
I C T活用授業の内容	<p>授業のねらい 環境保全への取り組みについて学習させる。</p> <p>授業の流れ 地球環境問題には様々な表れ方があり、この危機的状況に国際社会は動き出した。その中で、アメリカやヨーロッパを中心に、環境保全へ取り組みが活発になってきていることを説明する。</p> <p>① 環境税 身近なものとして水資源についてのシュミレーションを体験させる。あわせて、農業の多面的機能の低下など、関連する事象について説明を加える。</p> <p>㊦ 水源税シュミレーション（神奈川県） (http://www.pref.kanagawa.jp/kenzei/kaikaku/rinzi/choukazeigakukeisan.htm)</p> <p>① アシストデータサービス：環境事業 試算シュミレーション (http://www.assist-ds.co.jp/amenity/05.html)</p> <p>② 世界遺産 世界遺産に関連するオフィシャルなウェブサイトを開覧し、世界遺産登録は、環境保全のひとつのあり方として機能していることを説明する。あわせて、ラムサール条約・ワシントン条約など、国際的な自然保護の取り組みについても理解させる。</p> <p>㊦ 社団法人日本ユネスコ協会連盟 (http://www.unesco.or.jp/) →日本にある自然遺産を知る</p> <p>I C T活用のねらいと授業での位置づけ 環境税の学習指導については、ICT 活用により、口頭解説よりも現実性を高めて説明することができ、同時にシュミレーションを体験することにより楽しみながら理解を深められると考える。 世界遺産については、国連のユネスコのウェブサイトや NHK などの番組活用も含め、さらに ICT 活用が可能であると考え。</p>
活用する ICT メディア	インターネット・コンピュータ端末
活用するコンテンツ等	神奈川県 (http://www.pref.kanagawa.jp/) 株式会社アシストデータサービス (http://www.assist-ds.co.jp/index.html) 社団法人日本ユネスコ協会連盟 (http://www.unesco.or.jp/)